

お わ り に

本提言の冒頭において、千葉県における高大連携の実態として、実施校と未実施校に二極化しており、実施校は生徒の進路選択の支援に高大連携の目的を見出している傾向が強いことを指摘した。

そして、高大連携を始める上での課題とこれをより広め、発展させていくための方策を検証した上で、今後の高大連携の在り方として、「高大連携によって生徒の主体的な学びの姿勢を育てる」ことを示した。

本県において、多くの高等学校が個々の取組として高大連携を行っていることは先に述べたとおりであるが、その取組は単発の模擬授業から、協定を締結して共同研究を行うなど、より緊密な連携を行っている例まで様々であり、それぞれが尊重され、評価されるべきものである。

しかし、本実践研究において検証した高大連携というものが持つ可能性、そしてこれを実施するために関係者が費やす労力を考えた場合、これからの方向性として、高大連携を単に「大学選び」のためだけに実施するのではなく、高校での教育内容の深化にシフトしていくことが望ましい。

高度な実験器具を用いた理科教育の充実、ものづくり人材の育成、教養教育の充実等々、高大連携において期待される効果は様々なものがあるだろうが、そこに共通するのは、生徒に「学びの広がりを見せることで、学びの意欲を引き出す」ということであろう。

高大連携の意義は、まさしくそこに存在するのである。

高等学校と大学との連携の在り方に関する協議会 委員名簿

<平成19年度委員>

(五十音順)

五十嵐和廣	千葉県立千葉東高等学校長
石津 秀美	千葉県高等学校PTA連合会副会長
榎本 剛	千葉県教育庁教育次長
亀田 徹	株式会社PHP総合研究所教育研究部主任研究員
小山 幸伸	敬愛大学経済学部教授
高崎 信吾	千葉県高等学校長協会会長
根本 雅史	袖ヶ浦市立蔵波中学校長
保坂 好一	千葉県PTA連絡協議会副会長
宮崎 清	国立大学法人千葉大学理事
森 重文	千葉県高等学校教育研究会進学指導部会会長
森 久人	千葉商科大学商経学部教授、千葉商科大学付属高等学校長

<平成20年度委員>

(五十音順)

五十嵐和廣	千葉県高等学校長協会会長
井上 卓己	千葉県教育庁教育次長
亀田 徹	株式会社PHP総合研究所政策総合研究部主任研究員 ※
北村 彰英	国立大学法人千葉大学理事
黒須 健治	千葉県高等学校教育研究会進学指導部会会長
小山 幸伸	敬愛大学経済学部教授
南雲 一夫	千葉県立千葉女子高等学校長
根本 雅史	袖ヶ浦市立蔵波中学校長
保坂 好一	千葉県PTA連絡協議会会長
森 久人	千葉商科大学商経学部教授、千葉商科大学付属高等学校長
矢部 美保	千葉県高等学校PTA連合会理事

(※ 亀田委員は、高等学校と大学の教員等の交流会委員を兼任)

高等学校と大学の教員等の交流会委員名簿

<平成19年度・平成20年度委員>

(各五十音順)

(高等学校)

石井	清	銚子市立銚子高等学校教諭
岡崎	俊明	千葉県立木更津高等学校教頭
君塚	一彦	千葉県立佐倉南高等学校教諭 ※
武田	明広	千葉県立市川工業高等学校教諭
長束	倫夫	千葉県立東葛飾高等学校教諭
堀越	恵二	千葉県立幕張総合高等学校教諭

(大学)

阿部	壮太	麗澤大学学務部教務課長
小川	靖夫	千葉工業大学学生センター次長
小倉	正敬	千葉大学高大連携企画室特任教授
福原	喬	千葉科学大学入試広報室長
村越	伸	東京情報大学事務局次長

(※ 君塚委員は、平成20年度千葉県立八街高等学校教諭)